

平成 23 年度当初予算編成過程の公表

1 . 予算編成の基本方針

平成23年度は、第2次実施計画の1年目として、当該事業を円滑かつ着実に推進する重要な年となります。問題山積の中で、人や予算の経営資源の優先順位をつけるとともに、「選択と集中」をさらに進めつつ諸施策を推進していかねばなりません。

そのため、予算編成にあたっては、第2次実施計画及び第3次行政改革推進計画の検討状況等を踏まえ、重点施策を中心とする事業への効果的な財源配分や、効率的な事業構築を進め、限られた財源の中で最大限の効果を上げることを基本とし、各部局長の強いリーダーシップの下、予算編成を行います。

また、職員にあっては、一人ひとりが時代の変化を敏感に感じ取り、全ての事務事業についての評価・検証を行うとともに、真に市民が求めているものは何かということを的確に捉え、事務事業の優先化にも取り組んでいきます。

2 . 予算編成の流れ

平成 23 年度の当初予算が、どのような過程で編成されるかを簡単に説明します。

10月6日	予算編成方針を庁内に通知
10月14日 、 11月4日	予算要求書の作成、提出 各部署（ 部 課）が、予算（歳入、歳出）の要求書を作成し、提出します
11月10日 、 12月2日	予算ヒアリング 各部署が提出した『予算要求書』をもとに、財政課がヒアリング（要求内容の聴取）を行います
12月3日 、 12月28日	予算査定 財政課において、要求された予算の査定を行います さらに、財務部長査定などを通して、予算は徐々にスリムになっていきます
1月6日 、 1月11日	市長調整 財政課から市長へ、要求内容や査定状況の報告を行い、調整を進めます
1月18日	第1次内示 各部署に対し、財務部長が予算の内示を行います
1月20日	復活折衝 第1次内示後、各部署は、削減された事業で、緊急性・必要性が高いものについて、市長と復活折衝を行ない、最終的に市長が査定を行います
1月25日	最終内示
2月18日 、	予算案審議 市議会に、予算案を提案し、審議が行われます

3. 予算要求から市長査定までの状況

* 別紙「平成 23 年度当初予算の査定状況」を参照してください。

「平成 23 年度各会計予算の査定状況」

「平成 23 年度当初予算の査定状況（一般会計）」（歳入）

「平成 23 年度当初予算の査定状況（一般会計）」（歳出）

4. リーディングプランの状況

平成 23 年度の主な施策や事業について、第 2 期基本計画に掲げたリーディングプランに沿って主な事業の状況を公表します。

（要求額については、追加要求を含まない。）

次代を担う浦安こども未来プラン

- ・ 次世代を担うこどもたちを「すこやか」に育成する

事業名	要求額 千円	最終査定額 千円
私立保育所施設整備費等補助金	90,000	90,000
任意予防接種事業	264,787	226,916
仮称第 9 中学校建設事業	947,845	83,090
妊婦健康診査	142,219	152,550
子ども医療費助成事業	736,698	641,474

交流とやすらぎにあふれる地域づくりプラン

- ・ 市民相互、世代間の交流を通じて個性がひかるのびやかなまちをつくる
- ・ やすらぎと安心を感じるまちをつくる

事業名	要求額 千円	最終査定額 千円
地域密着型介護老人福祉施設小規模特養整備事業 及び地域密着型認知症対応型共同生活介護整備事業	838,809	868,819
運動公園整備事業	1,193,328	1,168,126
自治会集会所新築事業	56,906	144,152
自主防災組織育成事業	12,997	13,073
自主防犯活動支援経費	2,867	2,457

まちに誇りと愛着を感じる浦安づくりプラン

- ・ 次世代のために環境にやさしいまちをつくる
- ・ 浦安の‘資源’を活かし、まちの魅力を高める

事業名	要求額 千円	最終査定額 千円
三番瀬環境学習施設整備事業	341,573	306,742
自転車等駐車対策に関する総合計画策定経費	15,047	8,925
浦安駅周辺再整備事業	15,120	15,000
浦安エコホーム事業	9,500	9,500
墓地公園整備事業	14,566	11,210
堀江・猫実B地区土地区画整理事業	1,449,664	1,402,547
浦安・新浦安・舞浜駅前施設維持経費	11,836	12,459
浦安・新浦安・舞浜駅前維持補修事業	93,198	36,629

未来につながる自治体経営プラン

- ・ ‘しなやかな’ 市政運営を行う
- ・ 一人ひとりが‘活躍’し、地域と行政との‘協働’によるまちづくりを行う
- ・ 長期的視点に立った財政管理と財源確保を行う

事業名	要求額 千円	最終査定額 千円
各課用協働提案事業	30,000	24,631
インターネット市政モニターシステム経費	4,699	4,699
電子申請等推進経費	2,352	2,078
うらやす市民大学運営事業	28,948	27,965

平成23年度 各会計予算の査定状況

(単位：千円)

会計	平成23年度予算要求額 (H22.11.9の状況)			財務部査定額 (H22.12.28の状況)			市長査定額(当初予算案)			
	歳入(A)	歳出(B)	収支 (A - B)	歳入(A)	歳出(B)	収支 (A - B)	歳入(A)	歳出(B)	収支 (A - B)	
一般会計	58,050,490	67,187,679	9,137,189	60,304,829	63,930,595	3,625,766	62,380,000	62,380,000	0	
国民健康保険 特別会計	11,722,403	11,722,403	0	11,408,210	11,408,210	0	11,482,000	11,482,000	0	
公共下水道事業 特別会計	3,430,118	3,430,118	0	3,385,866	3,385,866	0	3,265,000	3,265,000	0	
老人保健 特別会計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
墓地公園事業 特別会計	243,256	243,256	0	236,799	236,799	0	236,800	236,800	0	
介護 保険	保険事業勘定	4,368,703	4,368,703	0	4,353,970	4,353,970	0	4,354,000	4,354,000	0
	介護サービス 事業勘定	1,222,823	1,222,823	0	1,180,679	1,180,679	0	1,180,700	1,180,700	0
後期高齢者医療 特別会計	786,999	786,999	0	785,910	785,910	0	786,000	786,000	0	
合計	79,824,792	88,961,981	9,137,189	81,656,263	85,282,029	3,625,766	83,684,500	83,684,500	0	

【備考】 老人保健特別会計は、国の制度改正に伴い平成22年度をもって廃止予定。

一般会計：市が行う行政運営の基本的な経費を計上したもので、市税などを主な財源として構成し、市の会計の中心となるものです。
特別会計：市が特定の事業を行う場合に一般会計と区別して設置し、その特定の歳入をもって、特定の歳出に充てるものです。

平成23年度 当初予算の査定状況（一般会計）

（歳入）

（単位：千円）

	平成22年度 当初予算	平成23年度予算要求額 (H22.11.9の状況)		財務部査定額 (H22.12.28の状況)			市長査定額(当初予算案)		比較	
		要求額	構成比	査定額	構成比	査定留保とした額 (査定額に含む)	査定額	構成比	- =	伸び率 /
市 税	38,910,940	38,654,519	66.6	38,654,519	64.1		39,762,520	63.7	1,108,001	2.9
地方譲与税、 各種交付金	2,562,400	2,340,900	4.0	2,359,600	3.9		2,831,960	4.5	491,060	21.0
分担金及び負担金、 使用料及び手数料	2,542,570	2,693,575	4.6	2,695,098	4.5		2,694,140	4.3	565	0.0
国庫支出金、 県支出金	8,278,170	9,936,122	17.1	9,953,181	16.5		10,131,680	16.2	195,558	2.0
財産収入、 寄附金	208,910	201,830	0.4	202,158	0.3		197,590	0.3	4,240	2.1
繰入金	4,131,800	310,600	0.5	641,025	1.1		2,724,300	4.4	2,413,700	777.1
繰越金、 諸収入	2,076,510	2,147,627	3.7	2,219,348	3.7		2,251,210	3.6	103,583	4.8
市 債	2,288,700	1,765,317	3.1	3,579,900	5.9	1,265,000	1,786,600	2.9	21,283	1.2
合 計	61,000,000	58,050,490	100.0	60,304,829	100.0	1,265,000	62,380,000	100.0	4,329,510	7.5

【市 税】：市民の皆さんや市内に事務所を持つ法人等に納めていただくものです。市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などがあります。

【地方譲与税、各種交付金】：国・県が徴収したものを、一定の基準で按分し市に交付されるものです。

【分担金及び負担金、使用料及び手数料】：分担金及び負担金は、市の行う事業により利益を受ける方から、その受益を限度として徴収するものです。保育所の保育料などが該当します。また、使用料及び手数料は、市の施設や特定の事務により利益を受ける方から、その受益に対する負担として徴収するものです。テニスコートの使用料や住民票の写しの交付手数料等が該当します。

【国庫支出金、県支出金】：国庫支出金は、国と市の行う事業の経費負担区分に基づいて、国が市に支出するものです。また、県支出金は、県が市に対して支出するものです。県自らの施策として単独で交付するものと、県が国庫支出金を経費の全部または一部として交付するものがあります。

【財産収入、寄附金】：財産収入は、市が有する財産の貸付け、売払い等により得た現金収入のことです。公共用地の売払収入や、基金積立金の利子等が該当します。また、寄附金は、金銭の贈与となります。用途が特定されない一般寄附金と、用途を限定した指定寄附金があります。

【繰入金】：各種基金からの取り崩しです。

【繰越金、諸収入】：繰越金は、前年度の決算上の剰余金です。また、諸収入は、収入の性質により、他の収入科目に含まれない収入となります。

【市 債】：市が事業を行うにあたり、財源が不足する場合、特に一時に多額の資金を必要とするときに、外部（政府・地方公共団体金融公庫・銀行など）から資金を調達するもので、長期的な借入金です。

平成23年度 当初予算の査定状況（一般会計）

（歳出）

（単位：千円）

	平成22年度 当初予算	平成23年度予算要求額 (H22.11.9の状況)		財務部査定額 (H22.12.28の状況)			市長査定額(当初予算案)		比較	
		要求額	構成比	査定額	構成比	査定留保とした額 (査定額に含む)	査定額	構成比	- =	伸び率 /
議会費	340,690	340,373	0.5	338,742	0.5		433,260	0.7	92,887	27.3
総務費	7,436,650	7,676,211	11.4	7,169,204	11.2	13,000	7,284,030	11.7	392,181	5.1
民生費	20,415,570	22,381,420	33.3	22,304,564	34.9	609,580	21,936,130	35.2	445,290	2.0
衛生費	6,715,010	7,254,776	10.8	6,833,317	10.7		6,796,490	10.9	458,286	6.3
農林水産業費	24,720	24,596	0.0	23,862	0.0		23,860	0.0	736	3.0
商工費	693,400	773,882	1.2	675,566	1.1		755,930	1.2	17,952	2.3
土木費	7,732,800	7,214,421	10.7	6,548,154	10.2	338,168	6,314,410	10.1	900,011	12.5
消防費	1,920,010	2,157,142	3.2	2,128,472	3.3		1,969,880	3.2	187,262	8.7
教育費	11,576,500	15,164,584	22.6	13,708,420	21.4	1,430,600	12,670,860	20.3	2,493,724	16.4
公債費	4,044,650	4,100,274	6.1	4,100,294	6.4		4,095,150	6.6	5,124	0.1
予備費	100,000	100,000	0.2	100,000	0.2		100,000	0.2	0	0.0
合計	61,000,000	67,187,679	100.0	63,930,595	100.0	2,391,348	62,380,000	100.0	4,807,679	7.2

- 【議会費】：市議会事務局の予算
- 【総務費】：防災、防犯、広報、国際交流、選挙等の予算
- 【民生費】：社会、障がい者・老人・児童福祉、国民年金等の予算
- 【衛生費】：環境、清掃等の予算
- 【農林水産業費】：漁港施設関係の予算
- 【商工費】：商・工業振興、観光振興等の予算
- 【土木費】：交通安全、道路整備、都市計画、公園整備、市街地開発等の予算
- 【消防費】：消防施設等の予算
- 【教育費】：小・中学校、教育振興、幼稚園、公民館、図書館、博物館、スポーツ振興、給食センター等の予算
- 【公債費】：市が借り入れた過去の債務の支払いに要する予算
- 【予備費】：予算外の支出または予算超過の支出にあてるための予算